

ディーセントワークデー推進ニュース

No. 6

Decent Work 働きがいのある人間らしい仕事

2011年2月2日

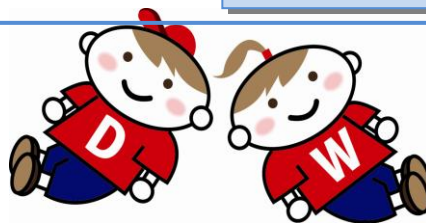
全労連

(全国労働組合総連合)

Tel 03-5842-5611

Fax 03-5842-5620

大企業の社会的責任を追及し、 大幅賃上げ・雇用確保を



寒風の中、第5回ディーセントワークデーが全国で

「大企業の社会的責任を追及し、大幅賃上げ・雇用確保を」をテーマに、第5回目になるディーセントワークデーが全国で取り組まれた。

取り組み状況は集約中だが、「内部留保を賃上げ、雇用にまわせ」の訴えが、寒風の中、全国に響きわたった。

「内部留保を賃上げ、雇用にまわせ」 東京・有楽町マリオン前

全労連評議員会1日目(1月20日)終了後の18時から、日本経団連「経営労働政策委員会報告2011」に抗議し、宣伝行動を実施した。

全労連・大黒作治議長、小田川義和事務局長、国公労連・宮垣忠委員長、JMIU三木陵一書記長、特殊法人労連・篠原百合子副議長、生協労連・鈴木蔵人書記長、郵産労・廣岡元穂委員長らがマイクを握り、財界は自ら行った「非正規切り」への反省もなく、ベア要求や非正規労働者の処遇改善など切実な要求を一蹴していること、そして経営危機に直面している中小企業を顧みず、大企業の身勝手な主張に終始していることなど、「経労委報告」への批判をおこなった。

また、JALの大量解雇の不当性、労働者保護を推進すべき厚労省のおこなった社会保険庁職員分限免職問題、「市場化テスト」によって700人以上の職員が失職の危機に直面している民事法務協会問題などをあげながら、働くルールの確立、賃上げと雇用の確保、非正規労働者の正規化、ディーセントワークの実現でこそ景気回復も可能になると訴えた。

高校生が近寄ってきて、ハニカミながら署名

岡山県労会議

県労会議は1月28日の昼休みに、昨年9月から数えて5回目のディーセントワーク宣伝に取り組んだ。ディーセントワーク宣伝としては初めてだったが、労働者派遣法の抜本改正を求める署名にも取り組んだ。

この日の宣伝には10人が参加して、署名を9筆



集めた。宣伝は 30 分の短時間だったが、「年越し派遣村から 2 年が経過したが、今も路上生活を強いられている派遣労働者が多くいます。派遣・非正規労働者は解雇・雇止めは 30 万人を突破し、高校生・大学生の就職難など、深刻な雇用状況が続いています。完全失業率は 5%であり、経済の明るい兆しさ見えません。内需を拡大し、日本経済を立て直すためにも、雇用破壊の現状を変えることが必要です。そのための一歩が労働者派遣法の抜本改正です。雇用を安定させ、労働者をモノのように扱う労働者派遣法を抜本改正して、正規雇用が当たり前の社会を実現しましょう」と訴えた。

署名を訴えると、高校生が近寄ってきて、ハニカミながら署名してくれた。

「就職難は心配ではないですか？」と声を掛けると「まだ 2 年生だから時間がある」としながら、自分のこととして考えている高校生の真剣さを垣間見たように思えた。

派遣労働法の抜本改正はマスコミが扱わなくなったテーマであり、国民的運動として組合側からの奮闘が求められていると実感した。

100 名のハンドマイク隊、宣伝カー 30 台以上で「総行動」に延べ 1100 人が参加 大阪

大阪春闘共闘と大阪労連は、「目に見え音が聞こえる総行動」として、またディーセントワークデー行動としても位置付け、大企業の内部留保を労働者の賃上げ・雇用安定、中小企業支援に活用せよと求め、また大阪府・大阪市には住民と労働者のくらしを守る自治体の役割発揮を求めて、1 日行動を展開、のべ 1100 名が参加した。

大阪市内は、淀屋橋での早朝宣伝からスタート。

意思統一集会の後、大企業・経営者団体、大阪府労働局・大阪市などへ要請行動を展開。並行して単産宣伝カー 13 台と 100 名のハンドマイク隊で「総行動」を府民と労働者に訴え、昼休み宣伝も 5 カ所で行い、最後は、500 人規模の大阪府庁包囲行動・デモ行進で締めくくった。



各衛星都市では、地区協・地域労連を中心に、駅頭宣伝・職場門前宣伝や、宣伝カーも 20 台以上出動

するなど、府下の各地域でもとりくみが行われた。

また夜には、大阪労連・大阪自治労連・府労組連の主催で労働者決起集会・デモも行われ、この日 1 日を通じて、2011 年春闘勝利への大きな一歩を踏み出した。

なお、ラジオ大阪でのスポット CM を 1 月 12 日から 25 日までの期間に計 27 回流した。

年配者から「政治が悪い」と話しこまれて **愛知**

ティッシュと一緒に配ったので受け取りはよかった。午前中にちょうど最賃署名が届いたので署名にもとりくみ、2人で5筆集まった。

デパート前での宣伝で、往来は主婦や学生が主だが、注目はまずまずだった。年配の方から長く話し込まれ、「政治が悪い」と訴えられた。また、こうして行動に出ていることに対し「応援する」と言われた。

真剣にチラシに目を通すサラリーマン **宮崎**

宮崎市デパート前。県国公定例街宣と一緒に実施。ビラを受け取り、信号待ちの間に真剣に目を通して見ているサラリーマン風の男性が…。春闘が始まったとの原稿を読み上げていたからかな。

寒さにも、雪にも、風にも負けずに **岩手**

盛岡市大通りで、鈴木議長がハンドマイクで演説し、参加者がチラシ入りポケットティッシュを通行人に配布した。約40分で用意してきた350個がすべてなくなった。



通行人は「何の宣伝かナー」というように見ていくが、一目では認知されないようだ。

「岩手はね、雪が降っているし、道路も凍結しているんですよ。日中の最高気温が零度以下で。でも、寒さにも負けず、雪にも負けず、風にも、空腹にも負けぬ、丈夫な心と体で、街頭宣伝を引き続き、ねばり強く取り組みます。」

毎月第3金曜日は、
ディーセントワークデー

2月のテーマは「賃上げと雇用確保による地域経済活性化を」です。

チラシ(版下)は、準備しません。「地域総行動用チラシ」(A4 カラー)や「春闘チラシ」(版下)などをご活用ください。

※東京の宣伝は、2月18日(金)正午～1時、「有楽町マリオン前」と「品川駅港南口」の2か所で行います。積極的なご参加を！

※「ディーセントワークデー学習会」にも多数ご参加ください！

日時 2月18日(金) 18:30～20:30

場所 全労連ホール

講演 「人権としてのディーセントワーク」 西谷 敏 さん(大阪市立大学名誉教授)